

蓄光製品の公共工事提出写真について

蓄光製品は屋外に設置すると(太陽光での蓄光)夕暮れ時に目では発光して見えるが、通常のカメラによる撮影方法では夜景の写真を書したのと同様に、暗く映り発注者に提出するのに不適合です、公共工事の写真は一切の加工を禁じていますので、対策を検討した結果が下記の通りです。

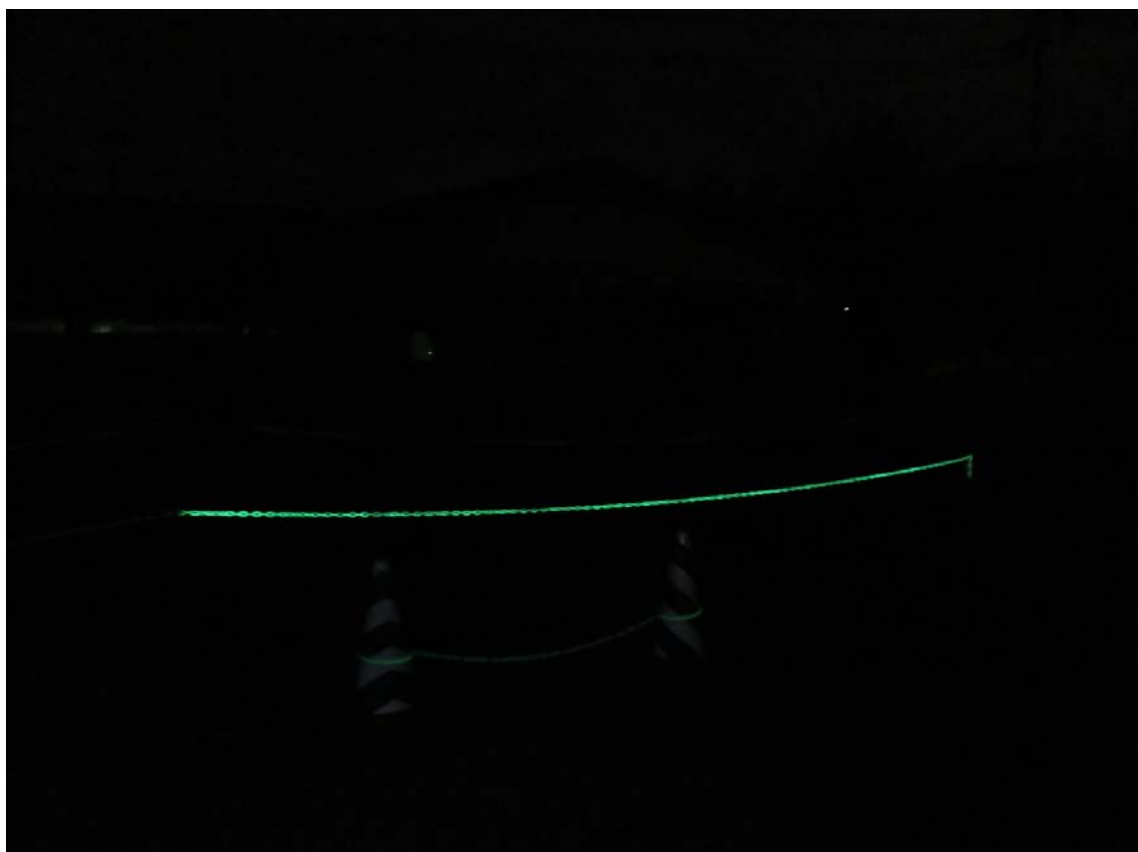
1. LED 懐中電灯

LED 懐中電灯をチェーンに沿って照射し輝度を回復させる、カメラの夜景モード等シャッタースピードを遅くして撮影するのが効果的であった、車のライトでも検証してみたが、設置高さとの車のライトの位置が合わせにくくある程度離れて照射するので、輝度回復に時間がかかる。

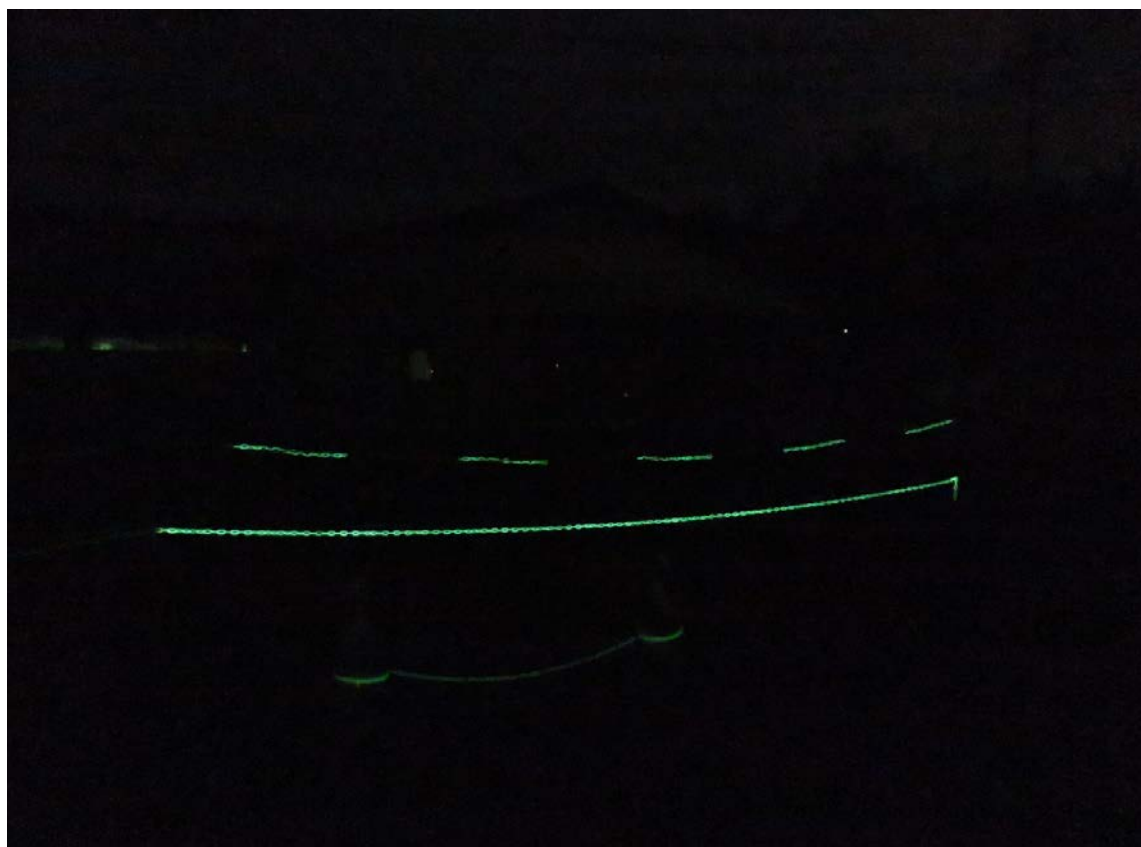
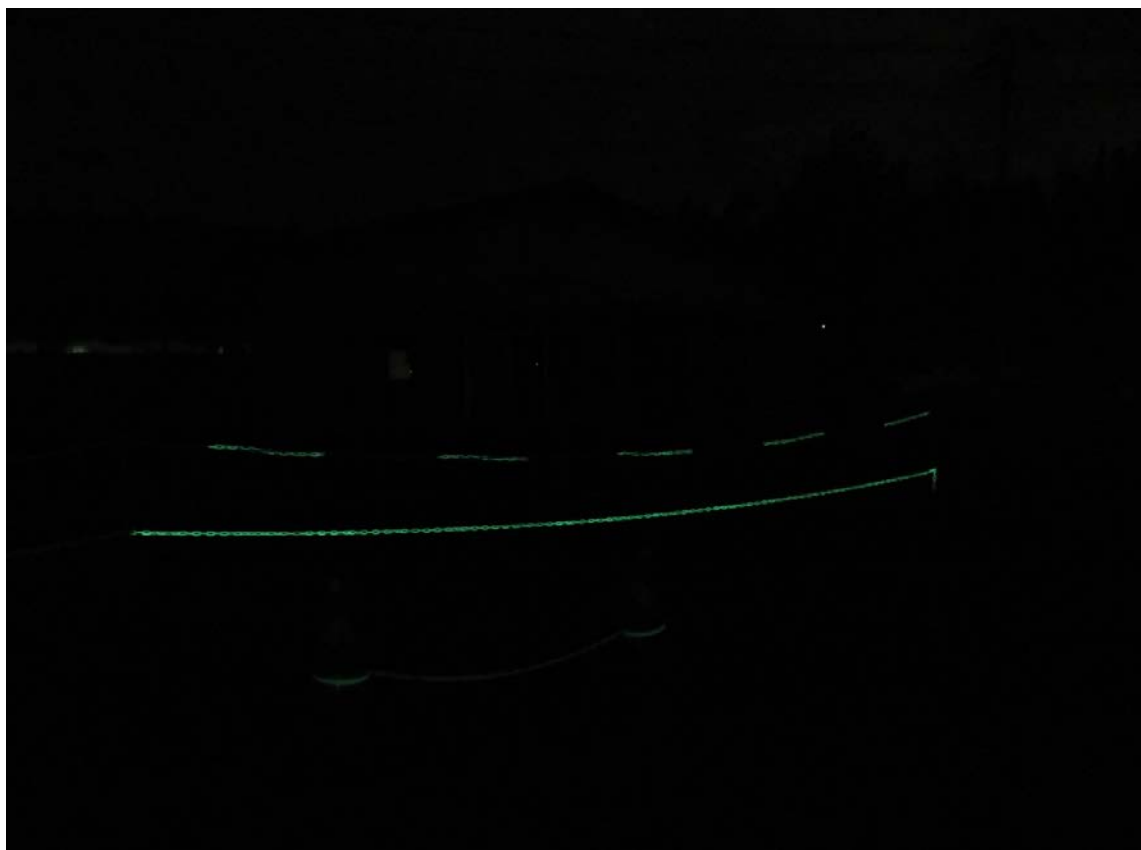
バルーン式の投光器を使用している現場では消した瞬間に撮影するのも一つの方法であるとする。



LEDライトによる輝度回復写真 上段通常撮影 下段夜景モード(1)



LEDライトによる輝度回復写真 上段通常撮影 下段夜景モード(2)



LEDライトによる輝度回復写真 上段通常撮影 下段夜景モード(2)

